

石井地区 避難所開設・運営訓練
 三津浜地区 三津浜検定
 愛媛マラソン
 正岡地区 / 堀江地区
 潮見地区 / 清水地区
 八坂地区 鎌投げ草刈り
 久米地区 植樹祭
 事務連絡会 まちづくり講座

つなぐ



石井地区

安心安全なまちづくりのために避難所開設・運営訓練

2月23日(日・祝)、大地震が起こったという想定で小学校に避難所を開設する訓練を行い、会場の石井小学校に地域住民など約170人が集まりました。あらかじめ定めた避難所開設のチェックリストに基づき、施設の開錠、安否確認、体育館の安全確認の後、施設、総務、食物物資、衛生など、各班で体育館の区割りをを行い、避難所運営体制を整え、避難者を受け入れていきました。会場には、居住スペース用の仕切り幕や、着替えなどができるテントが組み立てられ、プライバシーに配慮した設備も用意。他にもマンホールトイレの組み立てや応急給水栓の操作訓練など、避難所として利用できる設備も確認しました。



応急給水栓



マンホールトイレ

三津浜地区

ご当地検定「三津浜検定」を開催

三津浜のファンづくりを目的に「ご当地こなもんサミット 2025in 松山」に合わせて2月16日(日)、大街道アーケードで三津浜検定を開催しました。家族連れが次々と訪れ、愛媛大学の学生スタッフとの会話を楽しみながら、検定に挑戦していました。



三津浜検定のあゆみ

三津浜地区は江戸時代には港町として発展し、商業都市として栄え、数多くの文化的な資源が残っている地域で、より多くの人に知ってもらおうと2015年度に三津浜地区まちづくり協議会と愛媛大学社会共創学部井口研究室が協働し、まちおこしの一環として地域の貴重な財産である文化資源を題材とした検定制度として「三津浜検定」を作成しました。



まちづくり協議会

愛媛マラソン応援



潮見地区

総勢60体の案山子(かかし)が集結し、ランナーを応援しました。案山子たちの応援にランナーから笑顔が見えました。潮見地区まちづくり協議会のホームページに、応援の様子を掲載しています。ぜひご覧ください。



潮見地区
まちづくり協議会
ホームページ



正岡地区

マラソンコースである、ふれあいセンター前、辻池横、立岩川沿いに正岡まちづくりと書かれたのぼり旗55本を立てました。沿道には、だんじりが置かれており正岡地区の伝統を感じながらランナーが走っていました。



正岡地区
まちづくり協議会
Instagram

堀江地区

往路の10km 地点と復路の35km 地点に当たる堀江小学校周辺で、スポーツ健康部や内宮中学校生徒によるボランティアが声援を送りました。手書きの横断幕を見てランナーも精一杯頑張っていました。



清水地区

4月15日(火)に設立10周年を迎えます。一緒に応援してくれた方に設立10周年記念タオルをプレゼントしました。のぼり旗がずらりと並び応援者の水色上着がよく目立ち、ランナーもゴールに向かって頑張っていました。

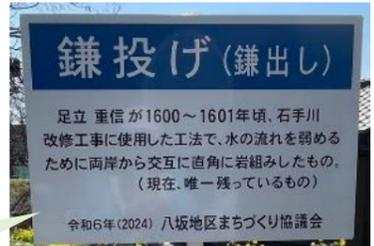


八坂地区

鎌投げ(鎌出し)草刈り、看板設置



八坂地区まちづくり協議会では、「まつやまの大切にしたい景観100選」に選ばれた、石手川の鎌投げ(鎌出し)を、後世に引き継いでいきたいと草刈りを実施しています。今回は、防草シートと看板を新調しました。



足立重信が1600~1601年頃、石手川改修工事に使用した工法で、水の流れを弱めるために両岸から交互に直角に岩組みしたもの。(現在、唯一残っているもの)

久米地区

植樹祭



3月20日(木・祝)に久米里やま植樹祭を開催しました。「久米里やまづくり委員会」ボランティアの皆さんで、紫陽花と椿の苗木を植樹しました。久米の子ども達には、「里やまふれあい広場」の活動を通して、里やまに愛着を持ち郷土に愛着を持つ人材に育てほしいと、地域の住民が協働して里やまの保全に取り組んでいます。平成17年度から久米小学校と窪田小学校の6年生が卒業の記念に制作を開始した埴輪(はにわ)が飾られています。

事務連絡会、まちづくり講座を開催



2月19日(水)、事務連絡会とまちづくり講座を合同開催しました。

事務連絡会では、松山市地域におけるまちづくり運用の手引きを元に、まちづくり補助金・交付金活用の注意事項、事務員の雇用手続き、ボランティア団体・NPO 法人の情報提供、情報発信の手段についてなど、要点をまとめてお伝えしました。

まちづくり講座では、愛媛大学の笠松先生を講師にお迎えし、「大学生と地域の連携」をテーマに小規模多機能自治、インターンシップの現状と課題、新たな学生連携についてお話ししていただきました。

小規模多機能自治とは

小学校区の地域単位で地域課題を共有して解決方法を検討したり実践したりする地域運営組織の一つの形態です。

小規模多機能自治で重視すべき点

- ・**個人単位**の参加が基本
- ・**若者、女性、子ども(多様な人々)**にも活躍や意思決定の場を保障する
- ・**リーダー群**による運営と適切な人材配置
- ・具体的な活動は**部会**が責任と権限を持って実践

大学生と地域の連携

- ★ 新たな学生連携として、インターンシップや実習の受入れ先にまちづくり協議会がなることで、学生の参画を目指します。(試験的に令和7年度実施予定)

まち協提案型

- ★ ・まち協が概ね活動内容を決めて学生に提示
- ★ ・イベント準備・実施、子ども対応、情報紙作成など

共同研究型

- ★ ・まち協と学生と一緒に活動を検討

学生提案型

- ★ ・学生が得意分野や興味に基づき活動を提案
- ★ ・出店、建物調査、植物調査、昔の話の記録など

HP : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

発行 : 松山市役所 まちづくり推進課

TEL:(089)948-6963

FAX:(089)934-1821



ホームページ



Facebook

< 設立状況(R7.4.1) 全41地区中 >

まちづくり協議会 31(33地区)

まちづくり協議会準備会 0(0地区)